

前立腺癌におけるリンパ節郭清の必要性再考 : 当院 2,200 例のロボット支援前立腺全摘症例解析

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

骨盤内リンパ節郭清は前立腺癌の治療や病期診断のために骨盤内のリンパ節を外科的に摘出する手技で、前立腺癌の外科治療において重要な意義を持つ一方、合併症のリスクを伴う手術です。従来、その必要性を予測するために様々なツールが開発されてきましたが、日本人集団での予測精度は十分ではありません。

当院では 2010 年 1 月から 2025 年 8 月までに約 2,200 例のロボット支援前立腺全摘術を行っており、これらの診療記録を用いて、どのような症例で骨盤内リンパ節郭清が必要かを検討します。既存予測ツールとの比較検証も行います。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2010 年 1 月～2025 年 8 月に当院でロボット支援前立腺全摘術を受けられた前立腺癌の患者さん

使用する試料・情報

- 年齢、診断時 PSA 値、臨床病期、針生検 Gleason grade、手術所見、病理診断
- リンパ節郭清の有無、郭清個数、リンパ節転移の有無

使用開始予定日: 2025 年 9 月 25 日

研究予定期間

2025 年 9 月 25 日～2026 年 12 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 泌尿器科 元島 崇信

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 泌尿器科 元島 崇信

住所: 熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話: 096-351-8000 (代表)